

**スイッチバックで知られる二本木駅の駅舎や雪囲いなどが、
登録有形文化財に登録されるよう答申が行われました！**

2019 年 3 月 18 日（月）に国の文化審議会が開催され、弊社の二本木駅構内に所在する駅舎や雪囲いなど 7 棟の建造物が登録有形文化財に登録されるよう答申が行われました。

これらは今後行われる官報告示後、正式に新潟県内で初の「交通」系登録有形文化財となり、二本木駅は駅構内の登録有形文化財の数が全国で 2 番目に多い「鉄道遺産の宝庫」となる予定です。

スイッチバックだけではない、「鉄道遺産の宝庫・二本木駅」に是非お越しく下さい。

1. 登録される見込みの建造物（写真は別紙を御覧ください。）

- (1) えちごトキめき鉄道二本木駅駅舎 (明治 43 年築)
冬の採光を目的とした高窓が残る、鉄道草創期における雪国の木造駅舎です。
- (2) えちごトキめき鉄道二本木駅ホーム上屋 (昭和 12 年築)
大正後期の米国製古レールと昭和前期の国産古レールを柱に使用した上屋です。
- (3) えちごトキめき鉄道二本木駅ホーム待合所 (昭和 10 年築)
壁の赤色塗と柱や梁の白色塗が特徴的な、築 80 年以上の待合所です。
- (4) えちごトキめき鉄道二本木駅地下道及び上屋 (昭和 16 年及び 17 年築)
この付近の鉄道施設では唯一の、戦前製コンクリート造地下道とその上屋です。
- (5) えちごトキめき鉄道二本木駅倉庫 (明治 43 年築)
開業期から残る木造の倉庫で、小屋組はトラス構造と、西洋技術を活用しています。
- (6) えちごトキめき鉄道二本木駅ランプ小屋 (明治 43 年築)
開業期から残る赤レンガ造の建物で、かつては車内灯燃料油を保管していました。
- (7) えちごトキめき鉄道二本木駅スイッチバック線雪囲い (大正 11 年築)
線路を雪から守るために造られた、明治末期の国産古レールを柱に使った雪囲いです。
全長 112 メートルの長大な建造物で、豪雪地帯の駅の独特な景観を形成しています。

2. 今後について

- (1) 各建造物の歴史と価値を伝える案内板を駅構内に整備します。
- (2) 今後、記念入場券などの記念グッズ販売を検討しています。
- (3) 正式な登録後、登録記念イベントの開催を検討しています。

別紙

(1) えちごトキめき鉄道二本木駅駅舎



(2) えちごトキめき鉄道二本木駅ホーム上屋



(3) えちごトキめき鉄道二本木駅ホーム待合所



(4) えちごトキめき鉄道二本木駅地下道及び上屋



(5) えちごトキめき鉄道二本木駅倉庫



(6) えちごトキめき鉄道二本木駅ランプ小屋



(7) えちごトキめき鉄道二本木駅スイッチバック線雪囲い

